

学生の皆さんへ「令和5年度の始業にあたって」（4月10日 校長講話）

みなさんおはようございます。

私は、この4月から福井高専に赴任しました長谷川と申します。3月までは青森県の八戸高専マテリアル・バイオ工学コースの教員として、主に無機化学や触媒化学を教えてきました。実は、わたくしも皆さんと同じように高専の出身者です。同世代の高専出身者は、大学の教授や、有名企業で活躍している人、海外の会社で社長をしている人など多様です。

高専の大きな特徴の一つに幅広いキャリアパスをとることができることはみなさんよくご存じだと思います。本科5年生を卒業したのち就職や進学を選べること、専攻科終了後にも進学や就職の進路を選べること、入学前にこのような説明を聞いたことがあると思います。特に本科卒業後の大学編入学や専攻科終了後の大学院進学の場合、入試の日程がかぶってなければ複数の大学を受験することが可能です。国立大学を複数受験できるのは高専生の「特権」ともいえます。このチャンスを生かすため大学受験を考えている人は、東京大学、京都大学や大阪大学など難関大学を選択の一つに加え、そのほかに確実な大学を選ぶなどして高専生の「特権」を最大限に活用してください。もちろん、受験対策は重要ですので、大学受験を考えている人はできるだけ早い時期から準備に取り掛かることをお勧めします。

さて、1年生の皆さんは入学式を終え、いよいよ授業がスタートします。入学式の挨拶でも述べましたが、高専の授業は進み方が速く感じられるかもしれません。まず、毎日2時間以上は学習する習慣を身に付けてください。部活動で多少疲れていても毎日の学習は必ず行うように心がけてください。そして、わからないことは先生や友達に積極的に質問して、そのまま放置することのないようにしてください。

2年生、3年生の皆さんは入学式の時に自分はどんな高専生活を思い描き、今現在どうであるか今一度、自分自身の座標を確認することが必要です。将来どんな自分になりたいのか、そのために今何をすべきなのか、今一度確認してください。ゲームに没頭して時間の浪費をせず将来の自分の糧となる知識を身に付けてください。

4年生の皆さんは、すでに成人年齢に達しています。大人としての自覚を持ち、具体的な進路を決められるよう大学や企業研究を行ってください。そして5年生は、就職や進学活動がいよいよ本格化します。全力で自分の将来を勝ち取っていただきたいと思います。

専攻科の皆さんは、積極的に学会などに参加し、研究能力の向上に努めていただきたいと思います。

さて、私たちは学業に限らず部活動など普段の生活の中で、「努力したのにできない」などとあまりにも簡単に諦めてしまっている場面はないでしょうか。「ONE PIECE」の作者尾田栄一郎さんは、応募した漫画が入選し意気揚々と上京したそうです。しかし、上京後、描いても描いてもまったく採用されず、彼は、ついに倒れて一週間ほど寝込んだそうです。

そして漫画家を諦めようとしたとき、当時の編集者がこんなに頑張っても報われなかった人を自分は今まで見たことがないと言ってくれたそうです。尾田さんはこの言葉に泣きました。そしてもう一度立ち上がって描き上げたのが「ONE PIECE」だったのです。頑張っても頑張っても、それでもうまくいかなくて、もうだめだと思ってもそこでもう一度チャレンジして全力を出し切ったとき、何かが起こることがあります。ドリカムの歌のようですが。

皆さんの人生はまだまだ長いのです。とことん頑張ってみることが若いうちにあってもよいのではないのでしょうか。もちろん体を壊すほど頑張りすぎるのが良いわけではありませんが、これぐらいの気持ちで挑戦してみる事が大切です。できなければ出来るまで時間をかけて、出来るように何度でもチャレンジすればよいのです。

年度の初めにあたって、それぞれの目標を立てたと思います。もし、うまくできず諦めそうになった時、この話を思い出してください。一年は長いようですがあっという間に過ぎ去ってしまいます。時間を無駄にせず諦めないで努力を積み、充実した一年にいたしましょう。

本日の講話は、以上です。